

各部長等 様

滝沢市長 柳 村 典 秀 (公印省略)

平成29年度予算編成方針について (通知)

地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢化や首都圏への人口流出に歯止めがかからない状況となっており、それに加えて、健康福祉や子育て、教育等をはじめとする幅広い分野において、市民ニーズの多様化や、扶助費の増嵩、既設社会基盤の維持負担の増加など様々な課題に直面しています。

このような状況下において、本市もまた非常に厳しい財政状況にあるため、最少の経費で最大の行政価値を創造できるよう経営資源を優先的に配分する事業を明確にし、より一層の選択と集中が必要になっています。

そのため、本市では、滝沢市自治基本条例に掲げた「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域を実現する」ことを目指して、幸福を実感するために必要な「健康、人とのつながり、所得・収入」に関わる事業に対して経営資源の重点的な配分を行っていきたくと考えています。

一方で、逼迫した財政状況において財源は極めて限られているため、独自裁量で行う全ての事業について、他自治体との比較等による多角的な視点から、事業効果や経費、受益者負担の妥当性について徹底的な確認及び見直しを行うことで、事業の効率化を図るとともに、こうした行政運営の在り方について、市民に対してしっかり説明責任を果たしていくことが不可欠なものとなっています。

以上のことを踏まえ、本市は、市民主体による地域づくりを支援すべく第1次滝沢市総合計画前期基本計画に掲げた「「幸福感を育む地域づくり」に向けた機運の醸成とセーフティネットの維持」の実現に向けた予算編成と事業展開を行っていくとともに、その過程においては市民との協働に重きを置き、理解を求めながら進めていきます。

ついては、平成29年度予算編成において下記に掲げる事項に十分留意の上、予算編成に当たるよう通知します。

記

【平成29年度予算編成の基本的事項】

- (1) 第1次滝沢市総合計画前期基本計画ビジョンである「「幸福感を育む地域づくり」に向けた機運の醸成とセーフティネットの維持」の実現に向けた予算編成に取り組むこと。
- (2) 各部等に一般財源の予算配分を行い、その配分枠内で各部等予算として予算編成を実施すること。
- (3) 第1次滝沢市総合計画前期基本計画における事業の位置づけに関わらず、全事業についてゼロベースで予算編成を行うこと。